

竹の内産廃処分場隣接焼却施設等解体工事の完了について

1 解体工事の目的について

竹の内産廃処分場隣接地に残置されていた焼却施設について、平成29年度に実施した焼却施設老朽化等調査の結果、生活環境保全上の支障のおそれが生じる可能性があることと認められたため、その防止のための措置命令を関係者に対して発出したが着手されなかったことから、その支障のおそれを除去することを目的に県が行政代執行により昨年度、解体工事に着手したものの。

2 解体工事の完了について

周辺環境への影響がないように万全を期して焼却施設の解体・撤去を進め、本年7月末には主要な工事を完了し、8月31日までには現場事務所の解体等の後片付け工も終え、すべての工事を終了する予定。



写真1 解体前焼却施設全景



写真2 煙突撤去状況



写真3 焼却施設跡地全景

焼却施設以外の解体・撤去物については別図を参照願います。

【参考：地下燃焼室の土壌分析結果について】

地下燃焼室の下層土壌への汚染の有無を確認するため、ボーリング調査により、採取した土壌の分析を行ったところ、**全て基準値を下回る結果**となった。

〔調査内容〕

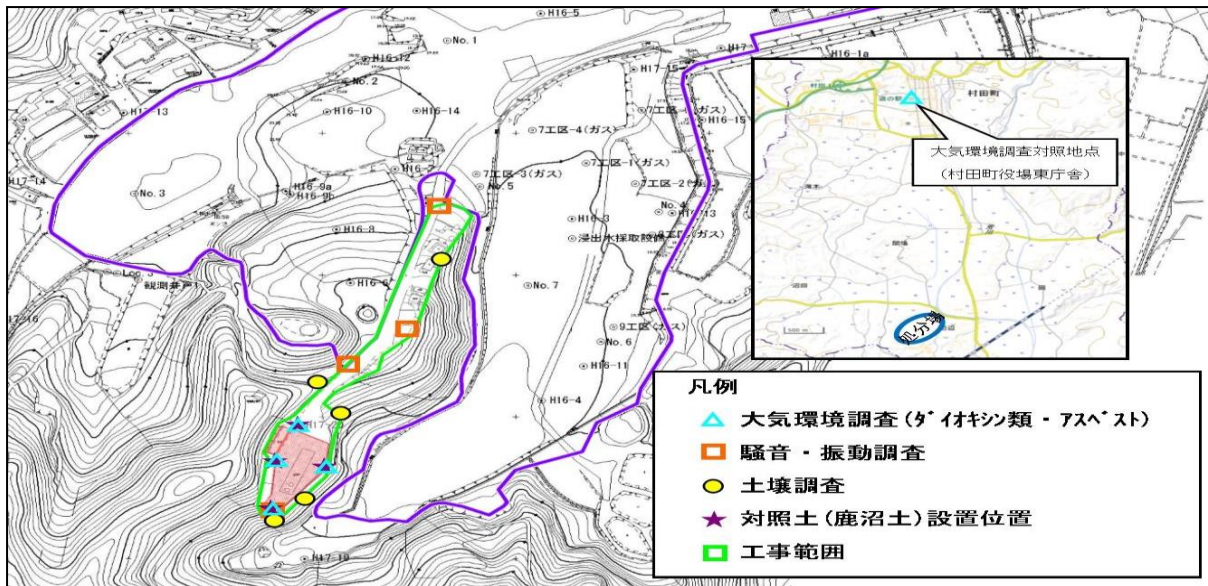
- ・調査箇所：3箇所（燃焼室の中心線上でコンクリート部材の影響が少ない場所を選定）
- ・調査深度：10m（燃焼室部分約4.0m＋下層地盤6.0m／下層地盤で土壌分析を実施）

表1 ボーリングコア土壌分析結果

| 調査孔 | 土壌採取深度 | 分析項目 | | | | |
|-------|--------|---------------|------------|------------|----------|----------|
| | | ダイオキシン類 | カドミウム(溶出量) | カドミウム(含有量) | 鉛(溶出量) | 鉛(含有量) |
| | | pg-TEQ/g | mg/L | mg/kg | mg/L | mg/kg |
| No.1 | -3.8m | 0.099 | <0.001 | <5 | <0.005 | <10 |
| | -4.8m | 150 | <0.001 | <5 | <0.005 | 45 |
| | -5.8m | 1.7 | <0.001 | <5 | <0.005 | 62 |
| | -6.8m | 2.5 | <0.001 | <5 | <0.005 | <10 |
| | -7.8m | 5.0 | <0.001 | <5 | <0.005 | <10 |
| | -8.8m | 3.1 | <0.001 | <5 | <0.005 | <10 |
| No.2 | -9.8m | 5.5 | <0.001 | <5 | <0.005 | <10 |
| | -4.6m | 5.6 | <0.001 | <5 | <0.005 | <10 |
| | -5.6m | 0.48 | <0.001 | <5 | <0.005 | <10 |
| | -6.6m | 6.2 | <0.001 | <5 | <0.005 | <10 |
| | -7.6m | 5.5 | <0.001 | <5 | <0.005 | <10 |
| No.3 | -8.6m | 3.4 | <0.001 | <5 | <0.005 | <10 |
| | -9.6m | 5.1 | <0.001 | <5 | <0.005 | <10 |
| | -4.3m | 220 | <0.001 | <5 | <0.005 | 12 |
| | -5.3m | 37 | <0.001 | <5 | <0.005 | <10 |
| | -6.3m | 5.5 | <0.001 | <5 | <0.005 | <10 |
| 環境基準等 | -7.3m | 0.34 | <0.001 | <5 | <0.005 | <10 |
| | -8.3m | 2.7 | <0.001 | <5 | <0.005 | <10 |
| | -9.3m | 5.4 | <0.001 | <5 | <0.005 | <10 |
| 環境基準等 | | 1,000pg-TEQ/g | 0.01mg/L | 150mg/kg | 0.01mg/L | 150mg/kg |

3 周辺環境調査の実施状況

(1) 調査地点図



(2) 調査結果等

- ・ 工事前、工事中及び工事後の調査結果は同様となっており、工事による**周辺環境への影響はなかった**ものと捉えている。
- ・ 今後は、隣接する最終処分場内での環境モニタリング調査を通じて、焼却施設跡地からの周辺環境への影響の有無について、継続して確認していくこととしている。

表2 解体工事前、解体工事後の調査結果

| 調査項目 | 調査地点等 | 解体工事前 | | 解体工事後 | | 工事前→工事中→工事後の傾向 |
|----------|-------------------|--------------------------|---|-----------------------|--|--|
| | | 調査日 | 調査結果 | 調査日 | 調査結果 | |
| 大気環境 | ダイオキシン類 | R1.11.6 ~ R1.11.7 | 0.0094~0.042pg-TEQ/m ³ (対照地点:0.008pg-TEQ/m ³) | R2.7.2 ~ R2.7.3 | 0.0062~0.0078pg-TEQ/m ³ (対照地点:0.0071pg-TEQ/m ³) | → 同様の傾向を示しており、周辺環境への影響はなかった。アスベストについては、詳細な分析の結果、確認されなかった。 |
| | アスベスト (総繊維数) | R1.11.7 | 0.056以下~0.22本/L (対照地点:0.16本/L) | R2.7.2 | 2.2~4.7本/L (対照地点:0.22本/L) | |
| 騒音 振動 | ○工事範囲境界付近4地点 | R1.11.8 | 45~52デシベル 30以下~32デシベル | [解体工事中] R2.2.19 | 48~58デシベル 33~41デシベル | 基準値の範囲内 |
| 土壌 | 対照土 ※購入土壌(鹿沼土) | ○焼却施設周辺4地点に設置 R1.11.7 | ○ダイオキシン類 0.56pg-TEQ/g ○カドミウム 溶出量:0.001mg/L以下 含有量:5mg/kg以下 ○鉛 溶出量:0.005mg/L以下 含有量:10mg/kg以下 | R2.7.2 | ○ダイオキシン類 0~2.9pg-TEQ/g ○カドミウム 溶出量:0.001mg/L以下 含有量:5mg/kg以下 ○鉛 溶出量:0.005mg/L以下 含有量:10mg/kg以下 | → 同様の傾向を示しており、周辺環境への影響はなかった。 |
| | 焼却施設等周辺 | ○工事範囲境界付近5地点 R2.1.14 | ○ダイオキシン類 4.5~47pg-TEQ/g ○カドミウム 溶出量:0.001mg/L以下 含有量:5mg/kg以下 ○鉛 溶出量:0.005以下~0.1mg/L 含有量:10以下~220mg/kg | R2.7.3 | ○ダイオキシン類 4.8~91pg-TEQ/g ○カドミウム 溶出量:0.001mg/L以下 含有量:5mg/kg以下 ○鉛 溶出量:0.005以下~0.035mg/L 含有量:10以下~75mg/kg | → 同様の傾向を示しており、周辺環境への影響はなかった。 |

【焼却施設以外（下図③～⑪）の解体・撤去物】

